古石ひでさと4期目に向かっての議会活動　ひでさと

古　石　後援会だより

URL：http://古石.com/

第　３９２０号
発行令和３年１１月
古石　ひでさと後援会事務所
岩見沢市幌向南１条１丁目
TEL　２６－２２２６

E-mail-furuishi@gray-plala.or.jp

市政についてご提案、ご意見などがありましたらお聞かせください。

燃料高騰　家計　会社にずしり

燃料高騰 家計にずしり

「節約限界」「どこまで上がる」

灯油やガソリンなど石油製品の高騰が道内の暮らしを脅かしている。経済産業省が4日発表した道内の灯油配達価格は6週連続、ガソリン小売価格は9週連続で値上がり。特に灯油は1世帯当たりの負担額が昨冬より1万5千円以上増えるとの試算もあり、深刻だ。燃料代の上昇は銭湯やトラック業界の経営も圧迫している。（1面参照）

札幌市中央区のガソリンスタンドで灯油を給油する利用者
＝4日午後5時10分ごろ（金田淳撮影）

銭湯や運送業 経営圧迫も

「暖房も給湯も灯油だから、灯油高が一番痛い」。自宅で毎冬2千ℓほど使うという札幌市豊平区の米村建二さん(78)は締め顔だ。道内の平均配達価格は1ℓ換算で108円を超えたが、1人暮らしで収入は月約16万円の年金のみ。高値が続けば、昨冬より数万円負担が増えそうで「節約して使用量を減らすのはもう限界。価格アップがそのまま支出増になる」と嘆いた。

同区の主婦田辺智美子さん(87)は「値段はどこまで上がるのか」と心配する。50代の息子と暮らす築50年を超えた一戸建て住宅は「断熱と比べて断熱材が薄くて寒い」と言い、冬場は就寝後も灯油ストーブを消さない。灯代を抑えるため、配達から単価の安いセルフ給油に切り替え、息子に運んでもらっている。

北海道消費者協会によると、今冬の灯油代は2人以上世帯の平均で1万5千円以上高くなるとの試算もあり、畠山京子会長(70)は「新型コロナウイルス禍で収入が途絶えたり、職を失ったりした人には大変な問題」と指摘する。同協会は10月、適正な価格での安定的供給を支える施策を国に要請。畠山会長は「小売業者には少量買いにも快く対応してほしい」と話す。

ガソリン高騰も家計を圧迫している。4日午後、同市中央区の給油所を訪れたパート中島光子さん(37)は燃料代節約で「買い物に行く回数を減らしている」。給油所の島谷善和所長(43)は「来店する台数に大きな変化はないが、数量は出ていない。この傾向はしばらく続く」とみる。

銭湯も重油価格の上昇に頭を抱える。仕入れ値は10月20日に1ℓ当たり7円上がったが、道が料金の上限を決めるため、迅速な価格転嫁は難しい。119軒が加盟する北海道公衆浴場業生活衛生同業組合の小西広幸理事長(72)は「経営難で銭湯が減ればお客に迷惑がかかる。道や国に助成措置を求めたい」と話す。

軽油の道内平均小売価格は1ℓ151円60銭と昨年の同時期より3割ほど値上がりし、トラック運送業者の経営を直撃。コロナ禍に伴う収入減や運転手不足による人件費高騰もあり「三重苦」の状態だが、所有台数が5～10台の中小業者が大半で荷主に対する立場が弱く、価格転嫁は至難だ。約2800社が加盟する北海道トラック協会の工藤修二会長(75)は「多くが赤字なのに事業を続けているのは、コロナ対策の緊急融資のおかげ。荷主は窮状を知ってほしい」と訴える。（内山岳志、田中雅久、森川純）

1　16版　2021年（令和3年）11月5日（金曜

道内ガソリン170円迫る

168円60銭 9週連続上昇

経済産業省が4日発表した1日時点のレギュラーガソリン1ℓ当たりの道内平均小売価格は、10月25日時点の前回調査と比べて1円60銭高い168円60銭だった。原油価格高騰を受けて9週連続で値上がりし、2014年7月以来7年4カ月ぶりの高値となった。産油国が4日に原油の追加増産を見送ったため、今後は170円台に達する可能性もある。（12面＝原油増産見送り、16面＝室内防寒に注目、33面＝家計にずしり）

灯油の配達価格は1ℓ換算で4円39銭高い108円67銭と、08年10月以来13年1カ月ぶりの高値だった。新型コロナウイルス流行で停滞した経済活動の正常化が世界的に進み、原油需要が高まる一方、主要産油国は感染再拡大への懸念から追加増産を見送ってきた。需給は逼迫して原油価格などに転嫁されている。

石油情報センターによると、米国の原油在庫が市場予想を大幅に上回り、原油価格がいったん落ち着きつつあるため、来週は小幅な値下がりが予想される。ただ、石油輸出国機構（OPEC）と非加盟の産油国でつくる「OPECプラス」が、日米などが求めていた追加増産を4日の閣僚級会合で見送ったことで、冬場にかけて価格がさらに上がる恐れもある。

全国平均小売価格は、レギュラーガソリン1ℓ当たりが前回調査より1円40銭高い168円70銭、灯油の配達価格は1円84銭高い116円56銭だった。（佐々木馨斗）

衆院議員3人再始動 ⑦

激戦終えた道10区

自民

比例4選しこり残す

引退する覚悟

比例代表選ブロックでは、選挙区選で敗れた候補者が復活当選する「ゾンビ」現象を防ぐため、重複立候補できる候補者を1人に絞る改正公選法が2017年に施行された。自民党前職の鈴木氏83は「最後のご奉公」のつもりで臨んだ。しかし、「ゾンビ」のケースとなったら、俺も出ざるを得ないな。そんな気持ちだった」と、公明党前職の稲津久氏(63)が重複立候補しないことを聞いて、安堵の表情を浮かべた。

選挙区は北海道10区（定数1）で、稲津氏が小選挙区で、鈴木氏は比例北海道ブロックで、それぞれ当選した。公明党の10区での得票は、自民党本部が重視する「絶対得票」（前回の小選挙区と比例の合計）を上回った。

総理大臣の座を目指す菅氏の後押しもあり、鈴木氏は2017年から2連続で比例北海道ブロックで最多得票を獲得した。公明党の支援を受けた2019年の参院選では、自民党の候補者を上回る票を集めた。

ただ、今回は「比例で勝って当たり前」という雰囲気が漂い、陣営内からは「比例は1人しか当選しないのに、なぜ2人擁立するのか」という声も聞こえた。

鈴木氏は「比例は自民党の議席だ」と強調し、公明党の支援を受けながら、自民党の議席を増やすことに力を注いだ。

組織力低下も

昨年11月、自民党は道10区内の3つの支部を1つにまとめた。稲津氏の支援を組織決定し、道議や市町村議選などで、公明党候補と競合する選挙区では、自民党員に支援を呼びかけるなど、自民党の組織力を最大限に活用する方針を打ち出した。

ただ、自民党員の中には、「組織の統合で、これまで以上に公明票が入ってくるのではないか」と警戒する声もあり、岸田内閣で経済安保担当相を務める小林氏が道内の自民党員から支援を求める声も出ている。

同区では、衆院選主要政党の候補者5人全員が北海道出身で、前回に続いて全員当選する可能性が高い。「組織の事情」に翻弄している自民議員が3人いることも「自民が2つとってプラスになる」と転換する。

その中で、選挙区では道内唯一の単独候補者という強みがあり、岸田内閣で経済安保担当相を務める小林氏が道内の自民党員から支援を求める声も出ている。

同区では、衆院選主要政党の候補者5人全員が北海道出身で、前回に続いて全員当選する可能性が高い。「組織の事情」に翻弄している自民議員が3人いることも「自民が2つとってプラスになる」と転換する。

その中で、選挙区では道内唯一の単独候補者という強みがあり、岸田内閣で経済安保担当相を務める小林氏が道内の自民党員から支援を求める声も出ている。

灯油高騰 室内防寒に注目

暖房のスイッチに手が伸びる時期に入ったが、灯油価格の高騰が家計を直撃している。消費者の節約志向が高まっているようで、窓に貼る断熱シートや、袖が付いておりの体をすっぽり包み込む「着る毛布」などの室内防寒対策グッズの売れ行きがいい。テレワークで重宝する、机の下の足元を暖めるタイプの断熱ボードなど、コロナ下ならではの商品にも注目が集まっている。

暖房費節約でも快適

「これからを本格的になるのに、灯油価格がいつまで上がり続けるのか心配。部屋の暖房をしっかり節約したい」。札幌市内のホームセンターを訪れた会社員、北嶋京美さん(51)は、ドアの下などに貼り付けて隙間を防ぐテープを品定めしていた。

3年ぶり100円超

経済産業省資源エネルギー庁の委託を受け石油製品価格を調査している石油情報センター（東京）によると、道内の灯油配達価格は10月11日、2018年11月以来3年ぶりに1ℓ当たり100円を超えた。11月1日時点で前年同期比26円増の109円。道内最大の灯油共同購入団体コープさっぽろ（札幌）は1日、定期配達の灯油価格を全道一律で1ℓ当たり8円引き上げ、各地域の価格は107～110円となった。（1面参照）

㊤室内用の断熱グッズが並ぶDCMホーマック発寒通分通店の売り場（村本奨撮影）
㊦「着る毛布」や遠赤効果をうたう靴下が人気の札幌ロフト（中村祐子撮影）

断熱グッズ人気

DCMホーマック発寒通分通店（札幌市西区）では、断熱ボードや断熱シートの売り上げは1日、それぞれ、昨年の同じ時期に比べて3割増加している。

「冷気は、窓やドアの隙間から室内に流れ込むほか、冷やされた窓全体からも伝わります。断熱ボードや断熱シートは、冷気を防ぐ一方、室内の熱を逃さない効果も期待できます」と、同店店次長の股部大幹さん(46)。

断熱ボードは窓に立てかけたり、テーブルやベッドの側などを囲うように置いたりして使うことで、低い位置を移動してくる冷気を防ぐ。今季の新顔は、膝から下を囲うように置けるタイプだ。家でのデスクワークや、夜遅くまで頑張る受験勉強にちょうどよいと、注目を集めている。

断熱シートは、窓ガラスに霧吹きで水を吹きかけて貼るタイプを手に取る人が多い。貼るスペースを窓全体ぐらいにたっぷりとっている家もあるが、設置さんによると、「窓を全面に貼ると断熱効果を高めることができる」という。同店のお薦めはシートの厚さが7㎜、通常の約1・5倍のものだ。

「着る毛布」好調

札幌ロフト（同市中央区）の売り場で目を引くのが「着る毛布」。素材はポリエステルで一般的なガウンよりも毛足が長めで、厚みもあり、保温性が高いという。数年前に人気に火が付いた。同店ではコロナ下、自宅で過ごす「おうち時間」を快適にするアイテムと提案に力を入れ、売り上げは昨年同時期より3～5割伸びている。

「温熱効果」をうたう靴下や、レッグウオーマーも出荷が好調という。企画担当の松永麻衣さん(32)は「灯油高で例年よりも暖房の使用を遠慮させたり、暖房の温度設定を低くしたりする人が多いからでは」と、好調な理由を分析している。（熊谷周憲）

※1ℓ当たりの現金価格。資源エネルギー庁の石油製品価格調査を基に作成

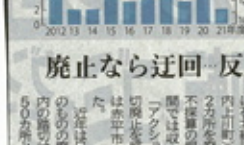
あすの「週刊まなぶん」

海外記者ニュース解説は、メキシコから国境を越えてアメリカの学校に通う子どもたちを取り上げます。アメリカへの入国審査が厳しいため毎朝4時に起きて通う小学生や、ヒッチハイクで車の荷台に乗って帰宅する高校生ら、たくましく学ぶ姿を紹介します。

ＪＲ、踏切削減を推進

5年で26カ所 コスト、事故減強調

JR北海道の踏切数の推移



JR北海道が踏切の削減に向け動き出す。利用の少ない踏切を廃止するなどして、2017～18年度に全体の約2割に当たる約300カ所を削減する。安全運転につながる自動運転の導入を進めるため、踏切の減少は欠かせない課題だ。

JR北海道は、道内に約1500カ所ある踏切の立体交差化や、歩行者用通路の新設などを進めてきた。しかし、1カ所当たりの費用は1億～2億円かかるため、2016年度までの5年間で26カ所を廃止するにとどまっていた。

廃止できるのは、利用者が少ない踏切に限られる。廃止後は、代替の通路を確保するか、踏切を利用する人がいなくなるまで待つ必要がある。

廃止なら迂回 反対する自治体も

廃止できるのは、利用者が少ない踏切に限られる。廃止後は、代替の通路を確保するか、踏切を利用する人がいなくなるまで待つ必要がある。

廃止なら迂回 反対する自治体も

JR北海道が踏切の削減に向け動き出す。利用の少ない踏切を廃止するなどして、2017～18年度に全体の約2割に当たる約300カ所を削減する。安全運転につながる自動運転の導入を進めるため、踏切の減少は欠かせない課題だ。

JR北海道は、道内に約1500カ所ある踏切の立体交差化や、歩行者用通路の新設などを進めてきた。しかし、1カ所当たりの費用は1億～2億円かかるため、2016年度までの5年間で26カ所を廃止するにとどまっていた。

廃止できるのは、利用者が少ない踏切に限られる。廃止後は、代替の通路を確保するか、踏切を利用する人がいなくなるまで待つ必要がある。

廃止なら迂回 反対する自治体も